

令和4年度 公民科「政治・経済」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 選択者
教科書	高校 政治・経済 新訂版 (実教出版)	副教材等	政治・経済資料2022 (東京法令出版)

1 学習の到達目標

- (1) 民主主義と立憲主義の本質と意義について理論的・体系的に考察し理解します。
- (2) 現代の政治、経済、国際関係などの仕組みや動向などについて理解を深め、政治と経済の基本的な見方・考え方を身に付けます。
- (3) 現代の諸課題について、多面的・多角的・自主的に考察し、公正な判断力を養い、民主社会の主権者をめざし、民主的な社会づくりができる能力と態度を身に付けます。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則	①政治と法 ②民主政治の原理と発展 ③世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> ・人権、国民主権、法の支配など民主政治の原理とその発展について学習し、民主主義の本質について探究します。 ・世界の政治制度について原理的に考察し、現在抱えている各国の政治問題を民主主義の本質の観点から分析し、その解決について考察します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート、演習問題への取り組み
5	第2章 日本国憲法の基本原則	④民主政治の混迷と課題 ①日本国憲法の成立 ②平和主義 ③基本的人権の保障 ④人権の広がり (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・大衆化と民主主義の危機の構造について分析します。 ・日本国憲法の成立過程、基本原則、最高法規性などの日本国憲法の基本的事項について理解するとともに、それらに関連する現代の課題についても考察を深めます。 ・平和主義思想の歴史的な形成と、同時に平和主義をめぐる現在の動きを学び、今後のあり方を考察します。 ・基本的人権の意味を考察します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート、資料分析 ・授業ノートの点検 ・中間考査
6	第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治	①立法 ②行政 ③司法 ④地方自治 ①戦後政治の歩み ②選挙制度と政党 ③政治参加と世論	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所の政治機構について学習し、三権がそれぞれ抑制と均衡のしくみを構築しているかを学び、民主政治の本質としての地方自治を憲法上どう位置づけられているかを、考察します。 ・各政党の社会保障・年金問題や経済政策の主張を調査し、現代社会の政治課題を考察します。また、国民主権の原理から民意の反映としての選挙制度の在り方について考え、18才選挙権の問題についても政治参加の観点から考察します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート、演習問題への取り組み
7	第5章 現代の国際政治	①国際政治の特質と国際法 ②国際連合と国際政治 ③国際政治の動向 ④核兵器と軍縮 ⑤人種民族問題 ⑥国際政治と日本 (期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の成り立ちについて歴史的に分析し、国際政治における国際法の意義について学びます。また、国際機関としての国際連合の意義と役割について分析します。 ・現代の国際政治の動向を歴史的に考察し、現在の到達点と課題について学びます。また、国際政治の課題としての核兵器問題と軍縮、人種・民族問題の根源を考察し、これらの問題に対して、日本の憲法の精神を生かしてどう向き合うかを考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート、資料分析 ・授業ノートの点検 ・期末考査

	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
9	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容	①資本主義経済の発展 ②現代資本主義経済	・経済活動の意味と経済社会の発達史を調べ、資本主義経済の成立とその変容を考察し、現代資本主義の歴史的な位置づけを分析します。 ・市場経済のしくみや企業の変容を考察し、また国民所得と経済成長の基本的な理論を学ぶとともに、景気対策に関する経済政策についても考えます。 ・政府による経済介入の観点から金融政策と財政政策について基本原理を学びます。	・授業ノート、演習問題への取り組み ・授業ノート、資料分析 ・授業ノートのまとめ ・授業ノートの点検 ・中間考査
10	第2章 現代経済のしくみ	①市場機構 ②現代の企業 ③国民所得と経済成長 ④金融と財政 (中間考査)		
11	第3章 現代経済	①日本経済発展 ②日本の中小企業と農業 ③暮らしと環境・公害 ④労働経済と社会保障	・日本資本主義の発達を歴史的に分析し、その課題を考察します。また、日本経済の具体的な課題としての中小企業と農業問題、環境と公害問題に関わっての原発問題、さらに労働経済の課題と社会保障の問題点を考察し、その課題の解決について分析します。 ・グローバル化した今日の世界経済を支えている様々な仕組みについて学びます。 ・戦後の国際経済体制の確立と発展の過程を概観し、生じた諸問題について分析しその対策について考察します。 ・グローバル化が生み出す経済格差や、マネー資本主義の実情とその影響、地域的な結びつきの強化と新たな対立について理解を深め、その解決について分析します。	・授業ノート、演習問題への取り組み ・授業ノート、資料分析 ・授業ノートのまとめ ・授業ノートの点検 ・期末考査
12	第4章 世界経済と日本	①商品・資本の流れと国際収支 ②国際経済体制の変化 ③金融のグローバル化と世界金融危機 ④地域経済統合と新興国の台頭 (期末考査)		
1	第3編 現代社会の諸課題	①エネルギー政策をどのように講じるか (学年末考査)	・東日本大震災以後の日本のエネルギー政策の転換をふまえ、従来の化石燃料や原子力などのエネルギーと再生可能エネルギーの実情と課題を理解し、持続可能なエネルギー政策のあり方を考察します。	・授業ノート、演習問題への取り組み ・授業ノート、資料分析 ・授業ノートの点検 ・学年末考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	社会的事象に対してマスメディア活用して積極的に接近する態度を身につける。
思考・判断・表現	社会的現象を具体から抽象への論理発展として捉える能力を身につける。
資料分析の技能	現代社会の問題への分析として具体的資料を読み解く技能を身につける。
知識・理解	社会科学の観点から科学的に社会的現象を原理原則から分析できる能力をつける。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料分析の技能および知識・理解の4つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (学力を身につけるためのアドバイス、授業で守ってもらいたい事項)

新聞・TVニュースでの情報を得て社会的事象に関心を深め、授業の予習復習に努めるようにする。また、板書事項以外に授業に中身についての自己の考えをノート等に記録して置くとよい。